



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 真也
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	31,072	2.4	52	△74.1	115	△53.9	103	△39.9
29年3月期第2四半期	30,349	△10.1	201	—	250	204.7	171	51.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 501百万円(790.2%) 29年3月期第2四半期 56百万円(4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	27 84	—
29年3月期第2四半期	45 04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	22,223	5,727	25.8
29年3月期	19,130	5,270	27.5

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 5,727百万円 29年3月期 5,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
30年3月期	—	0 00			
30年3月期(予想)			—	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	63,500	3.1	600	5.5	670	1.0	490	0.5	129	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	3,882,500株	29年3月期	3,882,500株
② 期末自己株式数	181,073株	29年3月期	181,073株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	3,701,427株	29年3月期2Q	3,807,327株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成29年11月21日(火)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績や雇用環境の改善が進み、緩やかな景気回復基調で推移しております。一方、個人消費におきましては家計の可処分所得が伸び悩み中、根強い節約志向は続いており、環境は依然として楽観視できない状況が続いております。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第3次C&G中期経営計画」（平成27年4月～平成30年3月）の最終年度として、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、プロセスを重視した提案営業体制の一層の整備と推進、システムの導入をはじめとする物流業務の品質改善・効率化による物流費の削減を進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度No.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は310億72百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は52百万円（前年同期比74.1%減）、経常利益は1億15百万円（前年同期比53.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努め、品質面や機能面、価格面で競争力のある商品の提案営業を行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、慢性的な人手不足などの物流環境変化への対応として、センター運営の自社化や在庫の適正化などの課題に対応し、全般的な効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は290億20百万円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億32百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社キスコフーズ株式会社が食材製造を行っております。引き続きキスコフーズ商品の販売強化と新商品の開発、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は20億59百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント利益（営業利益）は1億43百万円（前年同期比39.0%減）となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は73百万円（前年同期比0.5%増）、セグメント利益（営業利益）は53百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ30億93百万円増加し、222億23百万円となりました。これは主として現金及び預金が20億2百万円、商品及び製品が2億79百万円、投資有価証券が7億89百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ26億36百万円増加し、164億96百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が25億81百万円、未払金が2億34百万円増加し、長期借入金が1億55百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億56百万円増加し、57億27百万円となりました。これは主として利益剰余金が58百万円、その他有価証券評価差額金が3億84百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は25.8%(前連結会計年度末27.5%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して16億68百万円増加し、54億24百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して21億4百万円増加し、27億7百万円の収入となりました。これは税金等調整前四半期純利益が1億31百万円、仕入債務の増加額が25億78百万円、その他の負債の増加額が3億17百万円、たな卸資産の増加額が2億93百万円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億38百万円増加し、4億52百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億22百万円、投資有価証券の取得による支出が2億52百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億18百万円減少し、2億68百万円の支出となりました。これは長期借入れによる収入が3億円、長期借入金の返済による支出が4億93百万円、配当金の支払額が45百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,982	5,985
受取手形及び売掛金	6,974	6,918
商品及び製品	2,101	2,380
原材料及び貯蔵品	234	251
その他	743	731
貸倒引当金	△39	△36
流動資産合計	13,996	16,230
固定資産		
有形固定資産	2,255	2,255
無形固定資産	162	180
投資その他の資産		
投資有価証券	1,485	2,275
その他	1,333	1,389
貸倒引当金	△103	△107
投資その他の資産合計	2,715	3,557
固定資産合計	5,133	5,993
資産合計	19,130	22,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,021	11,602
短期借入金	180	180
1年内返済予定の長期借入金	965	927
未払金	904	1,139
未払法人税等	175	33
賞与引当金	268	222
その他	353	383
流動負債合計	11,870	14,489
固定負債		
長期借入金	1,260	1,105
役員退職慰労引当金	172	180
退職給付に係る負債	204	212
資産除去債務	80	81
その他	271	426
固定負債合計	1,989	2,006
負債合計	13,860	16,496

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	4,248	4,307
自己株式	△151	△151
株主資本合計	4,690	4,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	527	912
繰延ヘッジ損益	1	6
為替換算調整勘定	65	70
退職給付に係る調整累計額	△15	△11
その他の包括利益累計額合計	579	977
純資産合計	5,270	5,727
負債純資産合計	19,130	22,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	30,349	31,072
売上原価	24,537	25,214
売上総利益	5,811	5,857
販売費及び一般管理費	5,610	5,805
営業利益	201	52
営業外収益		
受取事務手数料	31	32
物流業務受託収入	18	19
その他	46	57
営業外収益合計	96	109
営業外費用		
物流業務受託収入原価	27	29
その他	20	16
営業外費用合計	47	46
経常利益	250	115
特別利益		
投資有価証券売却益	4	16
特別利益合計	4	16
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	252	131
法人税、住民税及び事業税	75	13
法人税等調整額	5	15
法人税等合計	81	28
四半期純利益	171	103
親会社株主に帰属する四半期純利益	171	103

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	171	103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	384
繰延ヘッジ損益	2	5
為替換算調整勘定	△75	5
退職給付に係る調整額	△3	3
その他の包括利益合計	△115	398
四半期包括利益	56	501
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56	501
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	252	131
減価償却費	111	115
固定資産除却損	2	0
投資有価証券売却損益(△は益)	△4	△16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	32	△46
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2	8
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	8	6
売上債権の増減額(△は増加)	64	50
たな卸資産の増減額(△は増加)	△284	△293
その他の資産の増減額(△は増加)	△9	9
仕入債務の増減額(△は減少)	560	2,578
その他の負債の増減額(△は減少)	△98	317
小計	664	2,846
利息及び配当金の受取額	15	19
利息の支払額	△7	△6
法人税等の支払額	△69	△152
営業活動によるキャッシュ・フロー	603	2,707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15	△15
定期預金の払戻による収入	50	-
有形固定資産の取得による支出	△86	△122
無形固定資産の取得による支出	△26	△37
投資有価証券の取得による支出	△122	△252
投資有価証券の売却による収入	15	18
その他	△30	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200	300
長期借入金の返済による支出	△610	△493
リース債務の返済による支出	△31	△29
配当金の支払額	△44	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△486	△268
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△117	1,987
現金及び現金同等物の期首残高	3,873	3,437
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,756	5,424

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	28,226	2,116	6	30,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	—	67	78
計	28,238	2,116	73	30,428
セグメント利益	412	234	51	699

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	699
セグメント間取引消去	3
全社費用(注)	△501
四半期連結損益計算書の営業利益	201

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	29,007	2,059	6	31,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	—	67	79
計	29,020	2,059	73	31,152
セグメント利益	332	143	53	528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	528
セグメント間取引消去	4
全社費用(注)	△481
四半期連結損益計算書の営業利益	52

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。